茶ぐわ～ わんたく

お茶を飲みながら、ぎのわんの歴史をのぞいてみませんか？ 176

旧道と新道が交差する道

上の写真は、県道241号宜野湾南風原線、嘉数と浦添市西原の境界にある歩道橋で、1976(昭和51)年からの写真です。当時この通りが国道330号で、1990(平成2)年の西原バイパスの開通に伴い、国道から県道へと変更されました。

さて、この歩道橋は1976年に市内5番目の歩道橋として設置されました。1975(昭和50)年に宜野湾小学校前の歩道橋を始めに、国道58号に面する伊佐、真志喜、大謝名に次いで設置されました。歩道橋に沿って左右の道は、左側が嘉数、右側が真栄原へとつながり、元の宜野湾並松街道があった旧道でした。写真の上側に続く道は、現在の真栄原十字路へ通じ、戦後、整備された道路です。

下の写真は、現在の様子です。通りの交通量は歩道橋設置前よりも増え、周囲にはマンションが建ち、比屋良川公園も整備されています。宜野湾並松のあった旧道も嘉数側は整備され、街路樹にはリュウキュウマツが植えられ、かつての並松のように成長するのが待ち遠しいものです。

【問合せ】
市立博物館 ☎870-9317

▲市内５番目に設置された歩道橋(嘉数)
1976～78(昭和51～53)年頃

交通方法が“人は右、車は左”へと変更する「730(ナナサンマル)」以前(変更は1978年)とあって、車の右側走行がわかります。

▲現在の様子　2018(平成30)年11月

上の写真の頃からある住宅やマンションも建ち、周囲の景観も変わってきています。

はくぶつかんの部屋 48

宜野湾市の歴史や文化などを紹介します

市立博物館
イメージキャラクター
天女ちゃん

市内限定、出前講座

あっという間に師走に入り、年越しの準備もいよいよです。この時期、市立博物館では社会見学に訪れた市内外の子ども達でにぎわいますが、中には「博物館が遠くて見学に行く時間がとれない…」「バスの予約がとれない…」などの理由で、来館が難しい学校もあります。しかし、そんな時もご安心を！当館では、市内限定で、学芸員が学校を訪問して授業する出前講座を行っています。

出前講座の定番は、主に小学校3年生を対象とする「昔のくらし(道具体験)」「宜野湾の年中行事」です。

「昔のくらし」では、戦前の写真でかつての学校周辺の様子を知り、昔の生活道具・農具を現在のものと比較して道具の移り変わりを学びます。また、実際にそれらを使ってみることで、先人の知恵や工夫を体感することができます。教室に並べられた見たことのない道具を前に、子ども達の目はキラキラと輝きます。

通常は社会見学でご来館の際に行うプログラムですので、宜野湾小学校や長田小学校など博物館が遠く、なかなか来られない学校にオススメしています。

一方、「宜野湾の年中行事」では、エイサー・獅子舞・綱引きなど地域で行われる行事と、旧盆やムーチーなど家庭行事の由来を紹介しています。きちんと意味を学ぶことで、これまで何気なく参加していた行事も、より親しみを感じることができるでしょう。

他の出前講座には、戦時中～戦後直後の宜野湾を伝える平和学習もあります。授業の目的は学校によって異なっており、年齢や各地域の特徴を考慮して内容も変わるため、毎回、先生方に事前の打ち合わせをお願いし、準備をしています。

博物館の授業をきっかけに、子ども達にも地元の歴史文化を好きになってほしいですね。

【問合せ】
市立博物館 ☎870-9317

◀出前講座の様子
(道具体験)

▶出前講座の様子
(年中行事)